

新山自治会報

平成26年5月7日 発行
新山地区自治会
(電話 69-5011) NO. 36

新山まるごと一つの家族!

平成26年度 新山地区自治会

そうかい
総会

人口の減少や高齢化が進む
過疎地域などの集落では、今後
暮らしを続けていくことが危ぶまれる
状況が全国各地で一層拡大していくこと
が懸念されています。

こうした状況に対し、地域の再生を目指す
新たな取り組みとして、暮らしの安心と希望
をつなぐ「小さな拠点」づくりが始まっています。

「小さな拠点」は、**集落地域の暮らしの安心**
を守る「心の大きな拠り所」であり**地域の未来**
への展望を拓く「希望の拠点」となるこ
とが期待されます。

※国土交通省
「小さな拠点」づくり
ガイドブックから



5月11日(日)
午後1時30分～
土倉記念館 1階 和室

**委任状の提出は
お済みですか?!**

全戸にお配りしております委任状が、どんどん
自治会に集まってきています。

「まあ私くらいが提出しなくても・・・」と思
っては“まちづくり”は出来ません。

小さな力や小さな汗、小さな知恵が
集まって大きな力になり、素敵な地域に
なっていくと思います。

まだの方は、
自治会まで
ご提出くださいよう
お願いいたします。



今年の母の日は

5月11日(日)
かあさんへも
お母さんありがとうございます

5月11日(日)に
古墳公園の草刈りします!

4月29日(火・祝)に予定していた古墳公園の草刈り作業が雨のため延期っていました。

その替わりを5月11日(日)午前7時～行います。

各団体から連絡が届いていると思いますが、お間違えのないようよろしくお願いします。

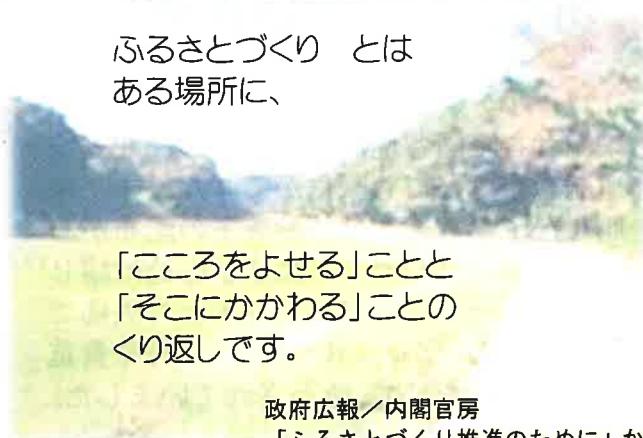
なお。5月25日(日)予定の草刈りをどうするかは、後日連絡します。

「にいやま百本桜の丘」の桜に**予防剤**を
散布します!

「にいやま百本桜の丘」の桜に5月11日(日)
古墳公園の草刈り作業後、「新栄会」の皆さんと
新山地区内の有志で予防剤の散布を行います。
気付けてください。

プレートの字が消えている人は、自治会に油性ペン
を用意していますので、ご利用ください。

ふるさとづくりとは
ある場所に、



「こころをよせる」とこと
「そこにかかわる」とことの
くり返しです。

政府広報／内閣官房
「ふるさとづくり推進のために」から

梅雨の季節がやってきます！

危険は急激に迫ってくる！



風水害は、まだまだ大丈夫だと思っていても、急激に状況が変化する場合があります。

危険が迫ってからでは手遅れになることもあるので、異変を感じたらすぐに対応するよう心掛けておきましょう。

いざというときに
あわてないために

長雨や大雨、または地震が発生したときなどに

土石流 地すべり がけ崩れ を

確認したら、早めに避難し、公共の防災機関に通報しましょう。

避難するときの注意点

1 動きやすく安全な服装で！

ヘルメットや防災頭巾で頭を保護し、靴は紐で締められる運動靴を。裸足・長靴は厳禁です。

2 足元に注意を！

水面下には、マンホールや側溝などの危険な場所が。長い棒をつえ代わりにして、確認しながら歩きましょう。

3 単独行動はしない！

避難する時は2人以上で。はぐれないように、ロープで結んで避難しましょう。

4 深さに注意！

歩行可能な水深は約50cm。水の流れが早い場合は20cm程度でも危険です。

5 子どもや高齢者に配慮する。

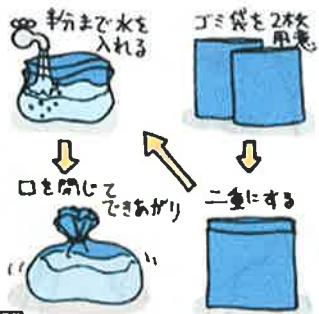
高齢者や病人などは背負い、子どもには浮き袋を着けさせて安全を確保しましょう。

「水のう」「土のう」の作り方

水深の浅い初期の段階なら、家庭にあるもので対応することができます。

● ゴミ袋を利用

40ℓ程度の容量のゴミ袋を二重にして、半分程度の水を入れ、隙間なく並べる。ダンボールに入れて繋げれば強度が増し、積み重ねることもできる。



● プランターとシートを利用

土の入ったプランターを縦長にならべ、レジャーシートを巻きつけて補強する。プランターの代わりに、水を入れたポリ容器や中に土を入れ重ねたビールケースなども利用できる。

※ 玄関などからの初期浸水を内側から防ぐことができます。

井笠鉄道記念館をきれいにしよう！



「にいやま新栄会」を中心に、地元の大切な観光名所である井笠鉄道記念館の清掃をしたいと思います。お一人でも・親子でも・友人と・できる形で無理なくご協力をお願いします。

**5月25日（日）
午前9時30分～**

※ 雑巾を1枚持参してください。



ゴールデンウィークには、たくさんの来館者を全国各地からお迎えし、井笠鉄道記念館はとても賑やかでした。また来館した子ども達には、お菓子の配布があり、突然のプレゼントに子ども達は嬉しそうでした。親子連れ、友人、ご夫婦で訪れ、みんなかわいいコッペル号や貴重な鉄道物品を見て、感心されていました。